

令和元年度 第1回 大阪府立春日丘高等学校 学校運営協議会（定時制の部）

令和元年6月13日（木）19:00～21:00

場所：ウイステリアホール

議 事 録

協議会委員 中鹿 直樹 委員（立命館大学准教授）、中鹿 彰 委員（迫手門学院大学教授）
野村 明仁 委員（茨木市立西中学校長）、片岡 誠 委員（本校後援会会長）
大西 哲 委員（保護者・本校振興会副会長）、長田 佳久 委員（本校卒業生）
事務局 下本 隆二（准校長）、島田 一（教頭）、竹内 秀行（首席）、浅原 幸三（主査）
江菅 純一、村上 拓哉（以上、教員）

第 1 部 授業見学

- 第 2 部
1. 准校長挨拶
 2. 出席者の紹介
 3. 学校の状況について（教頭）
 4. 本年度学校経営計画について（准校長）

第 3 部 協議

<質問事項>

- ・授業見学でクラスの人数がバラバラだったのはなぜか。
⇒数学では習熟度別の授業をしています。英語や数学は基礎と標準と分けています。
基礎の方は少人数で行っています。
- ・春日丘以外の定時制と目標値などは比べているか。
⇒他校の学校経営計画について公表されましたら、比べてみたいと思います。
- ・SSWの回数が減ったのは予算の関係か。
⇒今年度から活用する学校が増えたため昨年度40回から減りました。年度当初は32回の予定でしたが、35回まで増やしていただきました。
- ・中退率が昨年度10%を切ったが、原因は何か。
⇒不本意入学が減っており、進級率が増えています。
- ・生徒の自己実現をどのようにしているか。具体策はあるか。
⇒まず、わかる授業をして生徒自身が自信を持つようにしています。行事等は生徒中心で自信をつけさせるようにしています。成功体験をするようにしています。
- ・Webページのアクセス数は把握しているか。
⇒1日30アクセスほど。年間で9000～10000アクセスです。

- ・保護者との関係がしっかりしていない。保護者の連絡体制はどうしているか。
⇒担任が電話連絡をしています。連絡がつかない生徒は家庭訪問に行っています。4月の授業公開のときには、保護者からの意見を聞くこともしています。

<提言事項>

- ・保護者の方が学校に来ることが少ないと思う。少しでも学校に興味をもってほしい。Webなどで知らせていると思うが、保護者の関心をもっと増やすため方策はないのか。体育祭などで保護者が参加できるようにするなど保護者に足を運んでもらうしくみ作りが必要である。
- ・生徒が楽しい、実感させる授業を心がけていると思うが、基礎知識の差が大きいと思う。生徒の力を引き上げる方策や生徒が考えて楽しくなる授業をお願いしたい。
- ・出身中学校だけでなく、小学校の連携も必要なのではないか。
- ・3,4年次は社会に出る直前の大切な時期、就学意識の向上を努力してほしい。
- ・人権や障がい者について、LGBTも含めて研修等でこれからも対応をお願いしたい。
- ・地域の人々に育ててもらえるよう地域との連携や広報活動をもっとしてほしい。
- ・数値目標をしていてわかりやすいが、数字に表れない成果もある。可視化できるものもあるのではないか。
- ・Webページの更新は重要である。よく更新されているが、数値よりもっと大事な部分があると思う。
- ・不登校の生徒のために居場所カフェや行事等の努力をしていると思う。
- ・教科の中で工夫できることはないか。「学校ではこんなことが学べるよ」ということがわかるようにしてほしい。
- ・入学者が減ってきているので、もう少し学校のことをアピールするとよい。